

みやエコっ子通信 29号

発行月：令和2年10月

発行者：宇都宮市 環境政策課

TEL：028-632-2417

みやエコっ子通信では、環境にやさしい活動に積極的に取り組んでいる学校を紹介しています。
今回は、平石北小学校と瑞穂野中学校の取組を取材させていただきました。

平石北小学校

小学校4年生のごみ処理施設見学の時間に、環境学習センターで実施している「ESD(持続可能な開発のための教育)の視点を導入した施設見学」に参加しました。クリーンパーク茂原の見学をしたあと、児童自身が身近な環境問題を発見し、これからの自分たちには何が出来るかを「約束のこぼし」として残す「学びの時間」を通し、環境について学ぶだけでなく、児童たちが環境問題を身近に考え、将来の行動につなげるきっかけづくりができました。

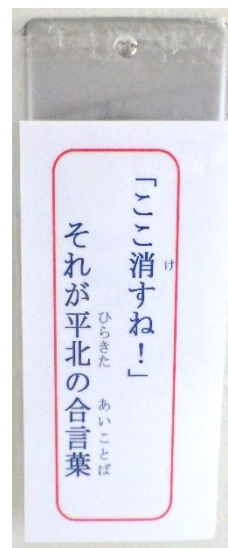
ESDの視点を導入した施設見学



学校や地域の清掃活動、資源を大切にすることが徐々に

省エネの呼びかけ

に習慣となりましたが、エネルギーの大切さも忘れてはいけません。そのために私たちの学校では、教室やトイレ、廊下などに節電や節水を呼びかける貼り紙をしています。みんなが毎日見るところに貼り紙をすることで、全校児童・職員が省エネ行動に取り組む意識づくりができました。



1年生の総合的な学習の時間に、ホタルの飼育をしました。

幼虫から成虫まで、ホタルが立派に育つよう、地域の方々にご協力い

ただきながら、餌となるカワニナも水槽で飼育しています。長期休暇期間にも生徒が当番制でホタルを飼育し、やがて成虫から生まれた幼虫は、地域の環境保全のために河川に放流



しています。ホタルの飼育を通し、身近な自然環境や生きものを大切にすることを養うことができました。

ホタルの飼育



食農体験

2年生の総合的な学習の時間では、農業と食味の体験をしました。地域の方々のご指導をいただきながら、生徒全員で田植えをする農業体験や、それによりできた米を食べる食味体験から、食べ物を作ることの大変さや喜び、みんなで協力することの大切さを実感しました。これらの体験を通して、生徒たちは伝統的な農業について学習するだけでなく、地域の方々や食べ物の恵み、地域の環境に感謝し、身近なひと・もの・まちを大切にする「もったいない」のこころを育むことができました。

瑞穂野中学校



“新しい生活様式” × “もったいない運動” “もったいない”でコロナに負けない!
“新しい生活様式” × “もったいない運動”の実践例を動画で紹介しています。是非ご覧ください♪

もったいない運動 YouTube

URL ▶ <https://youtu.be/88C85gvjy4>

